

第28回左京フォーラム

戦後史を考える (下)

戦後史を知れば、安倍政治の対抗像が見えてくる

— 9条基軸政党で未来を —

今回の参院選。民は年金財政の乏しい中、老後の暮らしを心配しているのに、安倍首相一人が改憲を叫ぶ…。投票率がここまで落ちたのは、安倍政治の賞味期限切れを如実に示しています。

戦後史をたどれば、米国が誤ってプレゼントしてくれた9条を与野党ともに駆使して、戦後の焼け跡闇市から人々がたくましく立ち上がっていく姿が見えます。でも、それにあぐらをかき、沖縄を放置。利権漁りで超高齢化社会を迎える前に1100兆円を超える借金を溜めたのが、今の苦難の原因です。

超高齢化社会に入り、今更打つ手がない？ いや、そんなことはありません。野党に魅力がないのも低投票率の原因なら、未来に希望を描ける野党を私たちの力で作り出せばいいのです。

敗戦直後からの苦難の時代を民の力で乗り越えた来た「55年体制」と言われる戦後史。そこには、超高齢化社会という2度目の苦難を乗り越えるヒントがいっぱい詰まっています。何のことはない「55年体制」のいいところ取りをすればいいのです。9条基軸の野党の魅力ある政策とは何か。一緒に考えてみませんか。



ひと・まち交流館 京都 3階 第5会議室

京都市下京区 西木屋町通上ノ口上る
梅湊町83の1 (河原町五条下る東側)

【市バス】

4, 17, 205号系統「河原町正面」下車

【電車】

京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分

【車】 立体駐車場 あり (有料)

8月24日(土)
午後18時半～

参加費 500円
(資料代として)



吉竹幸則

フリージャーナリスト/元朝日新聞記者

(よしたけ・ゆきのり) 左京千人委員会運営委員
名古屋本社社会部で、警察、司法、調査報道などを担当。東京本社政治部で、首相番、自民党サブキャップ、遊軍、内政キャップを歴任。無駄な公共事業・長良川河口堰のウソを暴く報道を朝日から止められ記者職を剥奪、ブラ勤に至る。記者の「報道実現権」を主張、朝日相手の不当差別訴訟は、戦前同様の報道規制に道を開く裁判所のデッチ上げ判決で敗訴に至る。その経過を描き、国民の「知る権利」の危機を訴える「報道弾圧」(東京図書出版)著者。フリージャーナリストによる特定秘密保護法違憲訴訟元原告。

■ 主催：戦争をさせない左京 1000 人委員会

■ お問い合わせ：075-711-4832 京都市左京区田中里ノ前町 21 石川ビル 305 市民環境研究所